



## 個人設定の変更

---

- [7 ページの「個人設定について」](#)
- [7 ページの「代行名のスペリングの追加」](#)
- [8 ページの「録音名の変更」](#)
- [9 ページの「ユーザ自身の代行ユーザ名の追加」](#)
- [10 ページの「代行用デバイスの追加」](#)
- [11 ページの「代行用デバイスの詳細設定の変更」](#)
- [12 ページの「ディレクトリー一覧ステータスの変更」](#)

### 個人設定について

個人設定では、Cisco Unity Connection のユーザとしての情報と、システムとの対話用に選択した内容を制御します。

### 代行名のスペリングの追加

名前をアルファベット以外の文字で入力する（たとえば、漢字で入力する）場合は、代行名のスペリングをアルファベットで入力します。代行名のスペリングを入力すると、他のユーザまたは外部の発信者が音声認識を使用してユーザを呼び出すときに、Cisco Unity Connection がユーザを識別できるようになります。

#### 代行名のスペリングを追加するには

- 
- ステップ 1** Cisco Unity Assistant で、[設定] メニューの [個人] をクリックします。
  - ステップ 2** [個人設定] ページで、[名前] の下の [代行の名前のスペリング] または [代行の苗字のスペリング] フィールドに、代行名のスペリングを入力します。
  - ステップ 3** 使用可能な文字は A ~ Z、a ~ z、および 0 ~ 9 です。
  - ステップ 4** [保存] をクリックします。
-

## 録音名の変更

録音名は、他のユーザに残したメッセージとともに再生され、ディレクトリではその名前でユーザが識別されます。また、独自の録音の代わりにシステム録音を使用したグリーティングとともに再生することもできます。



### ヒント

他の Cisco Unity Connection ユーザが電話でメッセージを送信した場合、そのユーザにはオプショングリーティングが再生されません。オプショングリーティングを使用可能にするときは、録音名を変更して、不在であることを示す情報を追加することを検討してください。

### 録音名を変更するには

- ステップ 1** Cisco Unity Assistant で、[設定] メニューの [個人] をクリックします。
- ステップ 2** [個人設定] ページで、[再生 / 録音] をクリックします。
- ステップ 3** Media Master で、[録音] をクリックして名前を録音します。
- ステップ 4** 録音の終了後、[停止] をクリックします。
- ステップ 5** [保存] をクリックします。

## ユーザ自身の代行ユーザ名の追加

指定した1つまたは複数の代行ユーザ名でユーザを認識するように、Cisco Unity Connection を設定できます。代行ユーザ名は、ディレクトリに登録されている名前とは異なります。

Connection は、William に対応する Bill や Catherine に対応する Cathy など、一般的なニックネームを認識します。ただし、次の状況では、発信者がユーザを名前で尋ねたときに正常にユーザに到達できるよう、ユーザ自身の代行ユーザ名を追加することを検討してください。

- ユーザが一般的でないニックネームで知られている（たとえば、ユーザの名前は William だが、ニックネームは Buddy である）。
- ユーザが別の名前で知られている（たとえば、ミドルネームまたは旧姓）。
- ユーザの名前の発音が文字通りの発音と異なる（たとえば、ユーザの名前は Janet だが、Jah-nay（ジャーネイ）と発音する。この場合、代行ユーザ名として発音スペリングの「Jahnay」を追加します）。

### ユーザ自身の代行ユーザ名を追加するには

- 
- ステップ 1** Cisco Unity Assistant で、[設定] メニューの [個人] をクリックします。
  - ステップ 2** [個人設定] ページで、[代行ユーザ名] の下にユーザの代行ユーザ名を入力します。
  - ステップ 3** 新しい代行ユーザ名を追加するには、[行の追加] をクリックし、[ステップ 2](#) を繰り返します。
  - ステップ 4** [保存] をクリックします。
-

## 代行用デバイスの追加

使用する他のデバイス（ポケットベル、携帯電話、自宅の電話、別の職場の電話など）に関する情報を、Cisco Unity Connection 個人設定に追加できます。この機能によって、代行用デバイスから Connection への電話がより便利になります。これは、プライマリ内線番号から電話をかける場合と同じようにシステムが動作するためです。

Connection の管理者は、プライマリ内線番号の他に、代行用デバイスを追加できます。また、ユーザが Cisco Unity Assistant Web ツールで代行用デバイスを追加できるようにすることも可能です。

Connection に転送するように代行用デバイスが設定されている場合、発信者はグリーティングを聞いて、Connection メールボックスにメッセージを残すことができます。この方法は、プライマリ内線番号をダイヤルした場合と同じです（転送の設定は、Connection ではなく、デバイスそのもので行います）。システムでデバイスを認識できるようにするには、電話番号を Connection に渡せる必要があります。詳細については、Connection の管理者に相談してください。

10 台の代行用デバイスを追加すること、および管理者が定義した代行用デバイスをすべて表示することができます。

### 代行用デバイスを追加するには

- 
- ステップ 1** Cisco Unity Assistant で、[設定] メニューの [個人] をクリックします。
  - ステップ 2** [個人設定] ページの [代行内線番号] セクションの [ユーザが定義した内線番号] テーブルで、[名前] フィールドに電話の説明を入力します。たとえば、「Mobile work phone」または「My personal mobile phone」のように入力できます。
  - ステップ 3** デバイスの [番号] フィールドに 30 文字以内の内線番号または電話番号を入力します。  
  
[ユーザが定義した内線番号] テーブルに数字を入力する場合、次の点に注意してください。
    - 追加した各代行用デバイスは、一意である必要があります。Connection は、他のユーザに割り当てられた番号（プライマリ内線番号または代行用デバイス）、または他の Connection エンティティ（システム同報リストなど）に割り当てられた番号を受け入れません。
    - 0～9 の数字を使用します。スペース、ダッシュ、またはカッコを使用しないでください。
    - SIP URL に対して有効なエイリアスを入力することもできます。たとえば、URL が SIP:aabade@cisco.com の場合、「aabade」と入力します。詳細については、Connection の管理者に相談してください。
  - ステップ 4** 他のデバイスを追加するには、[行の追加] をクリックして、[ステップ 2](#) と [ステップ 3](#) を繰り返します。
  - ステップ 5** [保存] をクリックします。入力した代行用デバイスがすべて有効になります。
-

## 代行用デバイスの詳細設定の変更

代行用デバイスにはカスタマイズ可能な詳細設定がいくつかあります。各代行用デバイスは、デフォルトで、プライマリ内線番号用に設定されたものと同じ設定を使用します。

Cisco Unity Connection への発信に使用する各代行用デバイスの設定を変更できます。たとえば、携帯電話から発信するときのインプット スタイルはボイス コマンドで、職場の電話から発信するときには電話のキーパッドを使用するなど、各デバイスで設定を変えることができます。

### 代行用デバイスの詳細設定を変更するには

- 
- ステップ 1** Cisco Unity Assistant で、[設定] メニューの [個人] をクリックします。
  - ステップ 2** [個人設定] ページの [代行内線番号] セクションで、[ユーザが定義した内線番号] テーブルの [詳細設定] カラムにある、変更対象のデバイスの [編集] をクリックします。  
  
[代行内線番号の詳細設定] が新しいブラウザ ウィンドウで開きます。
  - ステップ 3** [設定] カラムで、変更する設定のチェックボックスをオンにします。
  - ステップ 4** [代行内線番号の値] カラムで、目的の動作になるように代行用デバイスの設定値を変更します。
  - ステップ 5** [保存] をクリックします。
  - ステップ 6** [代行内線番号の詳細設定] のブラウザ ウィンドウを閉じます。
-

## ディレクトリー一覧ステータスの変更

社内の Cisco Unity Connection の設定状態によっては、自分の情報をディレクトリーに登録するかどうかを選択することができます。ユーザがディレクトリーに登録されていると、ユーザの内線番号を知らない発信者は、ユーザの名前で検索することによってユーザに到達できます。

### ディレクトリー一覧ステータスを変更するには

- 
- ステップ 1** Cisco Unity Assistant で、[設定] メニューの [個人] をクリックします。
- ステップ 2** [個人設定] ページの [ディレクトリー一覧] セクションで、[電話ディレクトリーに登録] チェックボックスをオンにすると、一覧に登録されます。
- または、
- [電話ディレクトリーに登録] チェックボックスをオフにすると、一覧から除外されます。
- ステップ 3** [保存] をクリックします。
-